

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)

【公開番号】特開 2000-85142 (P2000-85142A)

【公開日】平成 12 年 3 月 28 日 (2000.3.28)

【出願番号】特願 平 10-256499

【国際特許分類第 7 版】

B 4 1 J 2/175

B 4 1 J 2/18

B 4 1 J 2/185

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

B 4 1 J 3/04 1 0 2 R

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 3 日 (2005.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インクを吐出するノズルが形成された印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体に画像を形成するインクジェット方式画像形成装置における、前記ノズルから吐出もしくは吸引された廃インクが溜められる廃インクタンクと、該廃インクタンクに溜められた廃インクを検知する廃インク検知センサとを備えた廃インク回収装置において、

前記廃インクタンクは、

前記廃インク検知センサで検知される廃インクが溜められる第 1 空間と該第 1 空間とは異なる第 2 空間とに前記廃インクタンクの内部を仕切る仕切り壁を有し、前記第 2 空間に所定量の廃インクが溜められた後、該第 2 空間に溜められた廃インクが前記第 1 空間に流れ込んで該第 1 空間にも廃インクが溜められるものであることを特徴とする廃インク回収装置。

【請求項 2】

前記仕切り壁は、

前記廃インクタンクの内部空間を所定方向に広がると共に、前記廃インクが通る溝が上部に形成されたものであることを特徴とする請求項 1 に記載の廃インク回収装置。

【請求項 3】

前記廃インクタンクは、

外部から前記第 2 空間に廃インクを流入させるための流入口が形成されたものであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の廃インク回収装置。

【請求項 4】

前記第 1 空間及び前記第 2 空間に詰め込まれた、廃インクを吸収するインク吸収体を備えたことを特徴とする請求項 1, 2, 又は 3 に記載の廃インク回収装置。

【請求項 5】

前記廃インク検知センサは、

前記第 1 空間に配置される少なくとも 2 本の電極と、これらの電極に通電する通電手段を備えたものであることを特徴とする請求項 1 から 4 までのうちのいずれか一項に記載の廃インク回収装置。

【請求項 6】

前記廃インク検知センサは、

前記第 1 空間からの光を受光する光反射型センサであることを特徴とする請求項 1 から 4 までのうちのいずれか一項に記載の廃インク回収装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するための本発明の廃インク回収装置は、インクを吐出するノズルが形成された印字ヘッドからインクを吐出して記録媒体に画像を形成するインクジェット方式画像形成装置における、前記ノズルから吐出もしくは吸引された廃インクが溜められる廃インクタンクと、該廃インクタンクに溜められた廃インクを検知する廃インク検知センサとを備えた廃インク回収装置において、前記廃インクタンクは、

(1) 前記廃インク検知センサで検知される廃インクが溜められる第 1 空間と該第 1 空間とは異なる第 2 空間とに前記廃インクタンクの内部を仕切る仕切り壁を有し、前記第 2 空間に所定量の廃インクが溜められた後、該第 2 空間に溜められた廃インクが前記第 1 空間に流れ込んで該第 1 空間にも廃インクが溜められるものであることを特徴とするものである。